



東中だより



No. 9 令和5年10月3日

伊丹市立東中学校長
多田英稔

「第76回体育大会」

9月23日（土・祝）爽やかな秋晴れの中、第76回体育大会を無事終えることができました。吹奏楽部によるファンファーレにより開会式が始まり、生徒会長の挨拶や代表制による選手宣誓、諸注意など3年生が中心となり堂々とした態度で大会に臨んでくれました。今年度は、4年ぶりに生徒会種目も行い、開会式では迫力のある校歌斉唱も披露してくれました。特に3年生は、夏休みからダンスリーダーを中心として取り組んできました。また、係の生徒や準備を手伝ってくれたボランティアの生徒の協力のもと、今年度の体育大会は見事に大成功に終わりました。

1年生のリズム体操「ケセラセラ」は、曲に合わせて、指先までしっかりと伸ばし、きびきびとした躍動感のある体操でした。その一生懸命で元気な姿と笑顔に、1年生の成長を感じることができました。1年生のみなさん、素晴らしい演技をありがとうございました。

2年生の「東中ソーラン」では低く構えた姿勢、合間にかける「ソーラン！ソーラン！」というかけ声、ダイナミックで力強い動きが、見ている者に大きな感動を与える演技でした。東中学校に受け継がれてきた伝統が、新たな一歩を踏み出した瞬間でした。みんなが心をつにし、魂を込めた演技は圧巻でした。2年生のみなさん、素晴らしい東中ソーランをありがとうございました。教育委員会の視察もあり、「いいものを見せてもらいました」とお褒めの言葉を頂きました。

3年生は、女子のリズムなぎなた&ダンス「ピーターパン」、男子はダンス&ハカ（ニュージーランドのマオリ族の伝統の舞踊）「ON&OFF」は今年も見応えがありました。女子の演技は、目まぐるしく変わる隊形移動に躍動感があり、なぎなたとダンスの「和と洋」がマッチした演技となりました。終始笑顔で楽しく踊りきった姿に満足感がうかがえました。

男子の手拍子と体の一部を使って表現するダンスは、心地よいリズムを刻みました。ハカは、向かい合って演技を競うなど新しい着眼点が見られ迫力満点でした。男女ともダンスリーダーを中心に、夏休みから練習に取り組み、その成果が本番でも発揮できました。3年生のみなさん、素晴らしい演技と感動をありがとうございました。この雰囲気は必ず次の後輩たちに伝統として受け継がれていくことでしょう。

保護者の皆様、暑い中、体育大会をご観覧いただきありがとうございました。生徒たちは、3週間の練習の成果を発揮すべく、精一杯自分の力を出してくれました。本当にありがとうございました。

今後とも、本校教育にご理解・ご協力いただきますようお願い申し上げます。地域の皆様、体育大会の練習に際して、マイクの音声や音響など、大変ご迷惑をおかけしましたが、皆さま方のご理解・ご協力のもと無事体育大会を終えることができました。本当にありがとうございました。